

楷書で丁寧に ～ 私学願書の書き方 ～

いよいよ私学の願書を書きます。丁寧に書いてください。私学は公立と違い学校によっていろいろな様式があります。書かなければならない書類も学校によって異なります。基本的な内容や書き方は公立も含めほぼ同じですので、私学を受験しない人もよく読んでおいてください。

- ① まず、Bか2Bの鉛筆かシャープペンシルで淡く下書きをします。封筒も含め全ての書類に下書きをしてください。下書きができたなら担任の先生に点検していただき、合格したら黒のボールペンや極細のサインペンなどで清書してください。消しゴムで消えるボールペンは使えません。
- ② 文字は楷書で丁寧に書きます。数字は漢数字ではなく算用数字を使います。
- ③ まちがえたときは、修正液や修正テープで消してはいけません。まちがえた箇所に2本線をひき、その近くに正しいことを書いたあと、2本線のところに訂正印を押します。
- ④ 日付は出願の日を書きますが、出願するときに記入しますので空けておきます。
- ⑤ 科やコースはあてはまるものに○印を入れるか丸で囲みます。第2志望ができる場合は説明をよく読んでまちがえないように記入してください。
- ⑥ 名前や住所は住民登録通りに書くことが原則となっていますが、私学の場合、名前は通称で出願してもかまいません。
- ⑦ ふりがなは「ふりがな」と書いてあればひらがなで、「フリガナ」と書いてあればカタカナで書きます。
- ⑧ 「印」は、シャチハタなどのゴム印は認められません。認め印でかまいませんが、固い印鑑を朱で押してください。

- ⑨ 保護者の「本人との関係」は、本人から見た関係で「父」「母」となります。「実父」「お母さん」「親子」などとは書きません。
- ⑩ 現住所は原則として住民登録どおりに「丁目」「番」「号」を省略せずに書きます。「大阪府」は省略してかまいません。府営、市営住宅等の「棟」は不要です。「ウェストリバー」等の住宅名も省略してかまいません。書き方の例や指示がある場合は、それに従ってください。(例)大阪市東淀川区菅原 1 丁目 2 番 3 - 401 号)
- ⑪ 卒業年月は「平成 28 年 3 月卒業見込み」です。日も書く場合は 31 日となります。
- ⑫ 写真は学校で貼ります。
- ⑬ 入学検定料はほとんどの学校が銀行振り込みとなっています。検定料は、私学の進路相談後、受験校が確定してから振り込んでください。高校等からいただいていた振り込み用紙に必要事項を記入し、銀行等で振り込んでください。高校等指定の銀行等で振り込むと、手数料が安くなります。また手数料が少し高くなりますが、ＡＴＭを使わずに窓口で振り込んでください。入試要項にＡＴＭでの振込方法が書いてある場合は、ＡＴＭでもかまいません。インターネットでの振り込みは絶対にしないでください。高校等での確認ができません。
- 振り込みをすませた受領証等は、願書等に貼り付けずに願書とともに担任の先生に提出してください。願書がそのまま振り込み用紙になっている場合は、清書した後、担任の先生に点検していただいてから、銀行等で振り込んでください。
- ⑭ 合格通知用の封筒にも自宅の住所・名前を書きます。確実に届くよう、住宅名も書きます。「様」を抹消したり「宛」などに書き換える必要はありません。切手が必要な場合は指定の金額の切手を貼っておきます。
- ⑮ 学校によりその他にも必要な書類があります。要項をよく読んでまちがえないように記入してください。
- ⑯ 清書した願書やその他の出願書類は、1 月 15 日(金)までに担任の先生に提出してください。受験料の振り込みが間に合わない場合は、振込受領証のみ後日でかまいません。
- ※ 裏に一般的な願書の記入例を載せています。参考にしてください。